

2月特集「アルマゲドン・ウィーク2017」 その他の番組ラインナップ

<2月13日(月) ~ 26日(日) 放送>

日本初放送 世界終末の予言

2月17日(金) 23:00~25:00 ほか

日々、地球は大異変と対峙している。脅威をもたらすものが自然の力だろうが、人為的な力だろうが、あるいは地球から生み出されるものであろうとも、宇宙からのものであろうとも、世界はかつてないほどの多くの大惨事に見舞われているのだ。

聖書で最も説得力のある預言書「ヨハネの黙示録」にあるように、きたるべき世の終焉の兆しが我々の至る所に溢れているという人もいる。地球を脅かす大災害がますます増え、信仰を持たない人でさえこの事実を無視できなくなっている。聖書にある「終わりの時」に近づいているのか？だとすれば、一体どのように終わりを迎えるのか？神の御業か、それとも人間によるとんでもない失敗か。

世界が直面する、最も起こり得そうな世の終焉のシナリオの数々を科学的な歴史、聖書の歴史の背景とともに紹介する。

©2017 A&E Television Networks. All rights reserved.



大惨事後の世界

2月13日(月) 23:00~25:00 ほか

新型インフルエンザの感染拡大により、人類は壊滅状態に。大惨事後、人間社会がどう対応していくかをシミュレートする。

本番組では科学的な根拠を基に過去の大惨事を分析し、人間社会が大規模災害にどう対処してきたのかを探る。ハリケーン・カトリーナなど歴史に残る数々の悲劇から得た実際のデータを提示し、水や食料備蓄の減り方、劣悪な衛生状態や行き届かない健康管理が生存者に及ぼす影響、一変した環境下での通貨の役割などを徹底分析する。

©2017 A&E Television Networks. All rights reserved.



現代予言者たちの世界終末説

2月14日(火) 23:00~25:00 ほか

現代の世界は地球規模の金融危機から、技術開発の行き詰まり、コンピュータ化された世界戦争まで、この時代ならではの問題を抱えている。

これらの不安要素の集中に気づいた現代の予言者たちが、この状況は世界の終末のサインかもしれないということを示すため、姿を現し始めている。

©2017 A&E Television Networks. All rights reserved.



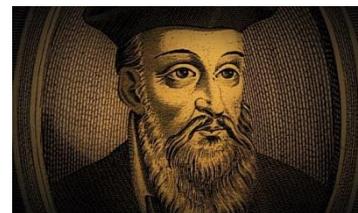
検証！ノストラダムス「21世紀」の大予言

2月15日(水) 23:00~25:00 ほか

21世紀のノストラダムスについて語る時期になった。1555年に初の予言集を出版したフランス人の薬剤師、ノストラダムスの存在は今も人々の想像力を掻き立てている。彼は、ロンドン大火、ナポレオンやヒトラーの台頭、9.11同時多発テロの貿易センター攻撃に至るまで、世界中の出来事を次々と的中させたと言われている。

この番組ではノストラダムスの次なる予言を解読してゆく。

©2017 A&E Television Networks. All rights reserved.



地球外からの侵略に備えろ

2月16日(木) 23:00~25:00 ほか

この地球上には、私たちの生活を支える複雑なインフラが創り上げられているが、これらは様々な攻撃に対して非常に脆弱である。その危険は、人的なものもあるが地球外からもたらされる可能性もある。科学者や政府高官、軍関係者は、地球上の豊富な資源、通信網、食料や水資源、武器、そして人類の体内もが攻撃の標的になり得ることを指摘する。

人類は、簡単に外的から支配を受けられるのでは？もしも宇宙に人類以外の知的生命体が存在するならば、彼らによる侵略はありえるのか…。

©2017 A&E Television Networks. All rights reserved.

